

みんなの

まちづくり

第18回住民自治福祉大会 自治会創立30周年記念式典を開催



▲お食事を楽しむ屋食会場



▲賑やかな福祉の杜コーナー



▲講演をする板井氏

美深町自治会連合会と美深町社会福祉協議会共催の第18回住民自治福祉大会を11月16日、文化会館COM100で開催しました。

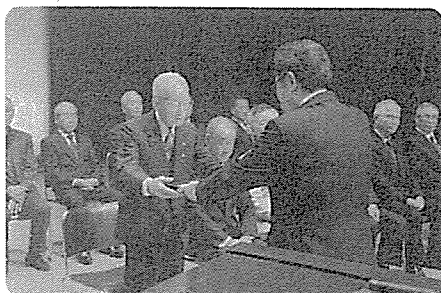
今年の住民自治福祉大会は、「地域密着型による介護保険事業所の在り方と高齢者福祉を考える」をテーマに行いました。

緑ケアライフサービス代表取締役板井清春氏を講師にお招きし、「故郷美深から」私の生い立ちと現在」を演題として、板井さん自らの体験談を元にした高齢者の現状と、これからの介護サービスにおける課題について講演いただきました。

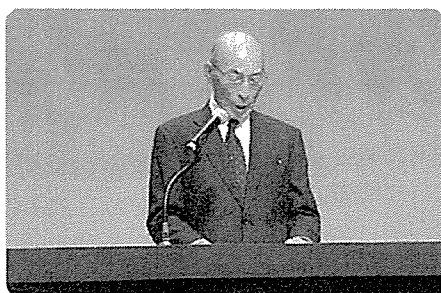
介護で大切なのは、相手の話を決して遮らず、相手の話に耳を傾けることが大事であることや、美深町出身者としてふるさとを離れることで気づいたまちの良さなどについてお話しいただきました。

また、今年度は、美深町自治会創立30周年を迎える年であり、これを記念して美深町自治会連合会主催の記念式典を行いました。

会場では、今年も町内の福祉団体や関係団体による出店コーナー「福祉の杜（もり）」を開設し、地域特産品の販売が行われたほか、昼食の提供やお楽しみ抽選会も行われ、多くの町民で賑わいました。



▲表彰状を受け取る多田氏



▲感謝の言葉を述べる下吉氏



▲式辞を述べる本平氏

自治会連合会定期総会



自治会連合会定期総会

4月24日、文化会館COM100において、平成31年度美深町自治会連合会定期総会を開催し、各自治会から推薦された代議員計37人が出席しました。

平成31年度事業計画収支予算案、自治会女性部会連絡協議会解散に伴う女性部会の設置などが原案通り可決されました。



女性部の紹介

自治会連合会重点目標

- 1 自治会相互の連絡協調を図り、地域づくりを推進します。
- 2 住民活動を積極的に推進します。
- 3 行政及び各種団体と連携したまちづくりにつとめます。



ポッチャをする参加者

第2回 全町シニア元気アップフェスタ

美深町社会福祉協議会と美深町自治会連合会共催の「第2回全町シニア元気アップフェスタ」を、10月4日、5日の2日間にわたって町民体育館で開催しました。

今回はシニア世代と子供たちが交流や運動を通して、お互いの理解や地域での繋がりを再構築することを目的とし、2日間で274人が参加する大盛況のイベントとなりました。

開会式では、88歳以上の参加者を対象に高齢者表彰

を行い、3人の方が表彰されました。

1日目は、「ポッチャ」の他3種目で、全8チームのチーム対抗戦を行い、2日目は「フロアカーリング」の他2種目を行い、2日間のイベントは大いに盛り上がり閉会となりました。

また、参加者からは「初めてポッチャをしてみたが楽しかった」「どの種目も考えらえたものであり、スムーズな進行で楽しい競技でした」など、好評の意見をいただきました。

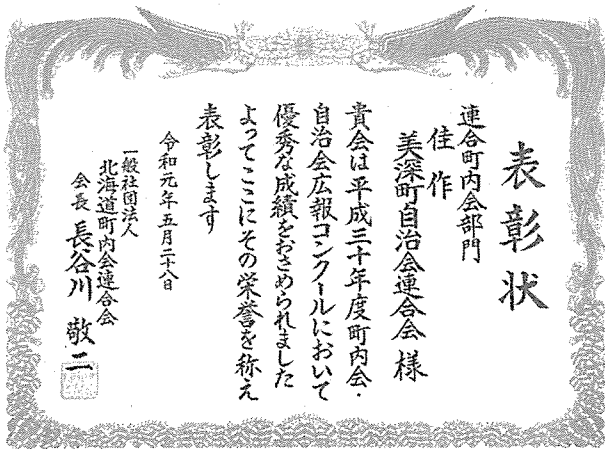
上川総合振興局管内 町内会自治会連絡協議会研修交流

9月24日、上川総合振興局管内町内会自治会連絡協議会研修交流会が上富良野町で開催され、本平会長、越智副会長、事務局の3人で参加しました。

同研修交流会は、管内の自治会役員ら65人が参加し、自治会活動における現状や課題について情報交換を行い、交流を深めてきました。

講演は、「自然災害～備えあれば憂いなし。防災は日ごろの心構え」をテーマに上富良野町の総務課危機管理員櫻井友幸さん、「地域とつくるロケツォーリング」をテーマに、企画商工観光課地域活性化担当主幹浦島啓司さんにお話いただきました。

令和元年 全道町内会活動研究大会



表彰された第2自治会（上坂会長）

5月28日、札幌市で開催された全道町内会活動研究大会に、本平会長、事務局の2人が参加しました。

本大会は、北海道町内会連合会・北海道社会福祉協議会の共催事業で、「地域の絆と安心・安全なまちづくり」をテーマに開催され、全道各地から280人が参加しました。

各町内会・自治会において優良な実績を残した組織を表彰する「北海道町内会連合会表彰」では「優良単位・ブロック組織表彰」部門において本町の第2自治会が表彰されました。第2自治会は、平成30年度に「ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり全

道運動」、「防災活動研修会支援助成事業」の2つを実施したことが評価されました。

また今年も、4年に1度行われる「町内会・自治会広報コンクール」があり、美深町自治会連合会の広報紙「みんなのまちづくり」が佳作を受賞しました。

表彰式後の講演では、国立病院機構函館病院名誉院長の伊藤一輔さんを講師に「長寿社会を楽しく健康に生きるコツ」と題し講演され、「笑い」が、健康で楽しく生き生きと人生を送るための秘訣であり、医学的根拠に基づいたものであることをお話しいただきました。

第22回 町長杯争奪 自治会対抗パークゴルフ大会

9月21日（土）に「第22回町長杯争奪自治会対抗パークゴルフ大会」が町運動広場で開催されました。今年は10組45人が参加され、スポーツの秋を楽しみました。

成績は次のとおりです（敬称略）

団体戦	☆優勝	第2B	田上 史、中野勇治、東 一美 石戸谷元彦、安藤けい子	個人戦	☆A級 優勝	高野ハル	準優勝	田上 史	第3位	上坂由子
	☆準優勝	第1A	掛村静子、阿部一子、高野ハル 仲俣哲子		☆B級 優勝	安海智久	準優勝	渡辺 進	第3位	吉田太一
	☆第3位	第2A	阿部賢一、仲俣元喜、渡辺 進 上坂由子、安海智久		☆C級 優勝	杉村武信	準優勝	本平尚三	第3位	高橋政彦

令和元年度 自治会連合会視察研修

11月12日、13日の2日間、令和元年度自治会連合会視察研修を自治会長5人と事務局の計6人で実施しました。

一昨年の胆振東部地震から1年が経過し、被害にあった地域の現状と、その傷跡は地域住民にどのような影響を及ぼしているのかを学ぶため、厚真町を中心に視察を行いました。

厚真町視察

厚真町では、厚真町観光協会の方に協力いただき町内を視察しました。

震災当時一番被害が多かったのは街中ではなく農村地区で、主に土砂崩れが原因でした。また、町内の



土砂撤去作業

ライフラインについては、最大で電気が4日間、水道が10日間使用出来なかったそうです。

また、建設中であった厚真ダムでは、地震による土砂崩れの影響により、崩壊する危険性があったそうです。震災でダムが崩壊した場合には、被害は甚大だったと考えられます。

厚真ダム内の状況



ダムについて説明を受ける一行



現在、ダム機能を停止し土砂を撤去する作業が行われています。

町内、厚真ダムを視察して、災害が起き、電話などの伝達手段が使用が出来なくなった場合、正しい情報を伝えるためには、地域全体で連携をとり、行動することが大事だと学びました。非常食や非常グッズな

ど前もって準備出来る物は予め用意し、地域での非常事態に備え体制を強化していくことが大事だと分かりました。

アサヒビール 北海道工場

2日目は、札幌市にあるアサヒビール北海道工場を視察しました。

アサヒビールでは、ビールの製造だけでなく工場から出るごみのリサイクルや排水対策、水源地の保全活動など、環境に配慮した取り組みについて説明を受けました。

工場説明の会場内



説明を受ける一行



最後に

今回の視察研修では、胆振東部地震で被害にあった地域はどのように活動しているのか、またその影響はどのようなものなのか見て聞いて学ぶことが出来ました。いつ災害が私達の町に被害を及ぼすかわからないため、日頃から出来る防災対策を実施し、地域住民の連携を強化していくことが大切と学び、地域住民が支え合える美深町を作りたいという思いが強くなる研修となりました。(事務局)

令和元年度 道北ブロック町内会活動研修大会



11月22日、道北ブロック町内会活動研究大会が富良野市で開催され、森元副会長、藤原理事、十亀理事、清水理事、八巻理事、上坂監事、事務局の7人で参加しました。

同大会は、上川、宗谷、留萌管内の道北地区の輪番制で開催しており、各管内から自治会役員ら116人が参加し、町内活動の現状や課題についての情報交換が行われました。

大会では、近畿大学総合社会学部准教授の松本行真さんを講師に「地域の安心・安全をめざして」をテーマにした講演も行われ、被災地における外部支援者の関わり方、地域とのコミュニケーションの在り方について学びました。

また、町内会における福祉活動、防災活動、環境・衛生の3つのテーマで分科会も開催され、各自治会の取り組みについて意見交換を行いました。

美深は福祉活動の分散会に参加し、富良野市で実施している「ふれあいサロン」についてお話を聞きました。

その後、各地域のサロン活動について情報交換し、地域ごとの規模や体制の違い、行政や社会福祉協議会との連携の必要性などを確認しました。

交流会では、各管内の参加者と交流し、有意義な研究大会となりました。

地域創生元気づくり交付金の活用

美深町の補助事業「地域創生元気づくり交付金」は、今年度4つの自治会が活用しました。



第2自治会

ほっとプラザ☆
スマイル
西側花畑
造成工事事業



東自治会

環境整備事業
チヨウサメ
飼育研究施設
桜植樹祭



南自治会

健康づくり
推進事業
ポツチャ購入



川西自治会

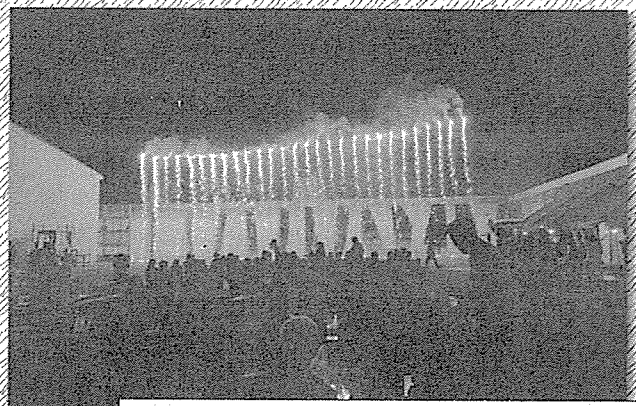
女性部
秩文別町研修
川西まつり

令和元年度 自治会活動支援事業

自治会連合会の「自治会活動支援事業」は、単位自治会を積極的に支援しています。
本事業は、地域活動に対する意識の高揚と自治会独自に実践する事業を推奨し、
活動を助長することを目的としています。
今年度は6自治会の事業を支援しました。



第1自治会まつり 2019



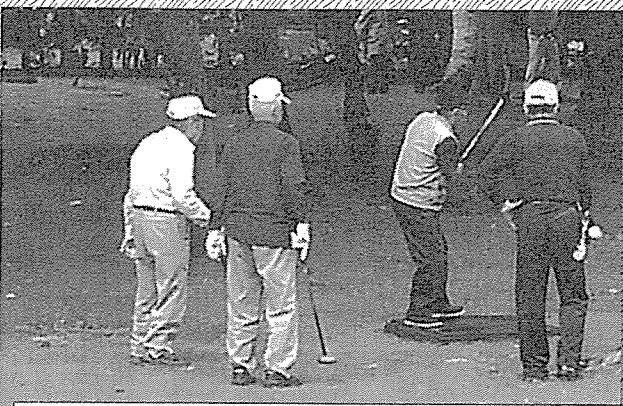
第2自治会 2019 花火☆フェス



新生自治会みんなでワイワイ広場



斑溪自治会収穫祭



恩根内自治会 春・秋パークゴルフ大会



西紋自治会花火大会

自治会連合会意見交換会

社会福祉協議会・

福祉部懇談会を開催

自治会連合会では、自治 門部担当者や各団体の代表 会活動をより良いものとす 者との意見交換会を開催し するため、毎年各自治会の専 ています。

主催者を代表して本平会 長が「現在、美深町の高齢 化比率は40%を超え、年々 高齢化比率は高くなってい

今年度は、 「いつまでも 安心して美 深町に暮ら すために必 要なこと をテーマに、 12月23日、 役場大会議 室で開催し ました。 意見交換 には、自治 会長、福祉 部、社会福 祉協議会、 事務局の総 勢24人が出 席しました。

除雪問題、移動手段がない 高齢者の買い物問題に関心 が集まりました。

今回は、事前に各自治会 で実施している福祉に関する 取り組みについて調査を行 い、その取り組み状況を 参考に、グループワークを 行いました。

今回の意見交換会では、 現状の課題が再認識出来ま した。そのうえで、課題解 決をするためには、自分達 で出来ることを考えること と、自治会でワークショップ を行い、共通の課題として 話し合う場を作って認識 することが大切であり、安 心して住み続けられるまち づくりが出来る体制を作っ ていかなければならないこ とを確認しました。

グループワーク時の話し合い



女性部会

視察研修

女性部会では、令和2年 2月25日自治会女性部長5 人と事務局1人が参加し、 視察研修を実施しました。

防災をテーマに旭川市総 合防災センターを視察し、 防災への意識を高めるとも に、親睦を深めることが 出来ました。



席しました。

高齢化が進む中、高齢者の

とを確認しました。

消防の活動について 説明を受ける一行



〈消防後援事業〉

美深消防団出初式・新年交流会

令和2年1月5日、文化会館COM100で美深消防団出初式、交流会が行われ、出初式には団員、署員合わせて60人が参加し、消防訓練、機械器具点検、分列行進が行われました。



美深消防団出初式



新年交流会

新年交流会では、消防団員、消防職員、町団体関係者など72人が出席し、本平会長、小野寺消防団副団長のあいさつに続き、北はるか農業協同組合の中瀬組合長の乾杯で交流会が始まりました。
出席者は、新年のあいさつを交わし、交流を深めています。また、町の特産品等が当たる余興を楽しみました。
日頃の慰労とともに今年1年間の活動に向け、気持ちを新たに美深町の安全を守る決意を固めました。

令和2年

自治会長会議・新年交流会

令和2年1月11日、びふか温泉で町と意見交換を行う自治会長会議・新年交流会を開催しました。
自治会長会議では、住

民自治福祉大会や、創立30周年記念事業、視察研修、自治会連合会意見交換会などの事業報告、これからの自治会活動について協議しました。

町からは、令和2年度自治会活動推進交付金やコミュニケーションセンター指定管理などの説明を受けました。

続いて、山口町長、今泉副町長、草野教育長を交えた新年交流会を開催し、令和2年度の自治会連合会が飛躍する年になるよう親睦を深めました。



▲自治会長会議



▲本平会長からの挨拶

みなさんの地域の活動や話題を、豊富に掲載してまいります。
お気軽に、事務局にお話をお聞かせください。

事務局 美深町役場 総務課 企画グループ
美深町字西町18番地 ☎ 2-1645

令和2年度 自治会連合会定期総会

日時 令和2年 4月下旬 予定

場所 美深町文化会館COM100 小ホール